

標 題：

香港籍船舶に搭載される救助艇を迅速且つ安全に
揚収するための手段について

NKテクニカル インフォメーション

No. : 207

Date : 平成9年2月21日

関係船主、造船所 各位

香港政府は、香港籍船舶に搭載される救助艇として兼用される救命艇（以下、救助艇という。）を迅速、且つ安全に揚収するための手段として備えるべき設備に適用する要件を定めております。

今般、本会は、香港政府の要件を基に、関連の設備に対する試験・検査要領を定め、即日実施することといたしましたのでお知らせするとともに、試験・検査を希望される場合、最寄りの支部・事務所に申し込むようお願い申し上げます。

なお、ご参考までに、香港政府の要件及び本会の定めた試験・検査要領を以下に示します。

1. 要件

1.1 技術要件

- (1) 「一点吊り式救助艇の場合を除き、各救助艇には、荒天時の海面からの揚収時、その吊り上げ装置につり索滑車を容易に取り付けることができるよう適切な手段を備え付けること。このため、各ダビットに適切な強度及び長さのリカバリ・ストラップを備え付けなければならない。このリカバリ・ストラップの一端はつり索滑車に、他端は救助艇の吊り上げ装置に取り付け、使用する。さらに、救助艇を引き上げた後、つり索滑車を救助艇の吊り上げフックに直接取り付けることができるよう、救助艇を吊り下げる措置（ハンギング・オフ・ペンダントの設置等）を講じること。」（Hong Kong Merchant Shipping (Safety) (Lifesaving Appliances) (Ships Built On or After 1 July 1986) Regulations 1991 からの抜粋）。この要件に適合した措置の一例を付録に示す。
- (2) 適切な強度及び柔軟性のあるチェーン又はワイヤがつり索滑車と吊り上げフックへの取り付け物の間に設けられている救助艇については、揚収のための措置を特別に講じる必要はない。ただし、この場合、チェーン又はワイヤの長さは、吊り上げフックに取り付けるリンクを含んで、1.25 m以上でなければならない。

ClassNK

財団法人 日本海事協会

東京都千代田区紀尾井町4番7号 〒102

このテクニカルインフォメーションは貴社のお役にたてればと思つて情報を提供するものです。必要に応じて貴社のご判断、責任においてご利用下さい。疑問についてはいつでもご相談下さい。

- (3) 乗艇甲板とは別の甲板に降りよう計画されている揚収装置の場合、両方の甲板に救助艇を引き寄せるための措置を講じること。
- (4) リカバリ・ストラップ、ハンギング・オフ・ペンダント及びダビットの強度は以下によること。なお、「使用荷重」とは、「救助艇自重＋艀装品重量＋1トン」をいう。
- (a) リカバリ・ストラップ（ナイロン又はその他の承認された材料）及びハンギング・オフ・ペンダントは、ストラップ及びペンダントの破断強さに基づく安全係数を6以上とすること。
- (b) ダビット付きハンギング・オフ・ペンダント用金具は、同金具の破断強さに基づく安全係数 4.5 以上とすること。ダビットは、10度まで縦傾斜し、且つ20度まで横傾斜した船舶で、使用荷重を吊り替える際、安全係数を 4.5 以上に維持するものであること。

1.2 適用船舶

1986年7月1日以降に建造された全ての船舶は、1.1 に示す要件に適合すること。すでに建造契約がなされている船舶、或いはすでに就航している船舶にあつては、次回の定期的な安全設備検査の時期までにこの要件に適合すること。

2. 試験・検査要領

2.1 図面・資料審査

試験・検査に先立ち、弊会本部の材料艀装部にて、関連の図面・資料を審査する。従つて、関連の設備に対する試験・検査を希望する製造者等は、次の図面・資料各 3 部を材料艀装部に提出する。

- (a) リカバリ・ストラップ、ハンギング・オフ・ペンダント、ダビット付きハンギング・オフ・ペンダント用金具及び救助艇の補助吊り具を含んだ揚収装置全体図
- (b) ダビット付きハンギング・オフ・ペンダント用金具の材質及び溶接詳細図
- (c) リカバリ・ストラップ及びハンギング・オフ・ペンダントの材質及び強度計算書
- (d) 救助艇の補助吊り具の材質及び強度計算書

2.2 試験・検査

- (1) 図面・資料の審査・承認後、各設備の製造所に於いて、検査員の立ち会いのもと、次の試験・検査を行う。
- (a) リカバリ・ストラップ及びハンギング・オフ・ペンダント
各リカバリ・ストラップ及びハンギング・オフ・ペンダントは、 $(2.2 \times \text{使用荷重})/2$ で荷重試験を受け、異常のないこと。
- (b) ダビット付きハンギング・オフ・ペンダント用金具

各金具は、 $(2.2 \times \text{使用荷重})/2$ で荷重試験を受け、異常のないこと。なお、就航中の船舶については、この試験を本船上で実施してもよい。

(c) 救助艇補助吊り具

各補助吊り具は、 $(2.5 \times \text{使用荷重})/2$ で荷重試験を受け、異常のないことを確認する。

就航中の船舶の救助艇に遡及して設置される補助吊り具については、設置後、本船上で、 $(1.1 \times (\text{救命艇自重} + \text{艀装品重量} + \text{救命艇定員相当重量}))/2$ で、荷重試験を受け、異常のないこと。

(2) さらに、各設備の本船への設置後、検査員立会いのもと、試験・検査を行い、以下の事項を確認する。

- (a) 揚収装置全体の機能・作動
- (b) リカバリ・ストラップ、ハンギング・オフ・ペンダント及びダビット付きハンギング・オフ・ペンダント用金具に対し製造所等において2.2(1)の試験・検査が実施されていること
- (c) 揚収装置の操作手順が救助艇の進水・揚収場所の近くに掲示されていること
- (d) 関連の訓練手引書及び保守手引書に必要な追加・修正が行われていること

以上

添付 揚収装置の一例

お問い合わせ： 材料艀装部

Tel : 03-5226-2020

Fax : 03-5226-2019

RECOVERY OF RESCUE BOAT USING RECOVERY STROPS

POSITION 1

- 1.1) Manoeuvre boat under falls, recovery strop will hang down from main suspension link.
- 1.2) Fit recovery strop link into boat suspension gear, signal deck operator to hoist.

POSITION 2

- 2.1) Deck operator to release hanging off pendants attached to davit arms so that they hang freely.
- 2.2) Boat to be hoisted to a position where boat crew can attach hanging off pendants to the auxiliary lifting lugs on the boat suspension gear. (Do not overhoist to a point where the davit arms start to turn in).

POSITION 3

- 3.1) Deck operator to raise brake lever on winch and lower boat slowly until the full weight is taken by the hanging off pendants.

POSITION 4

- 4.1) Disengage recovery stropps from boat lifting hooks.
- 4.2) Pay out falls at winch until it is possible to re-engage main suspension link.

POSITION 5

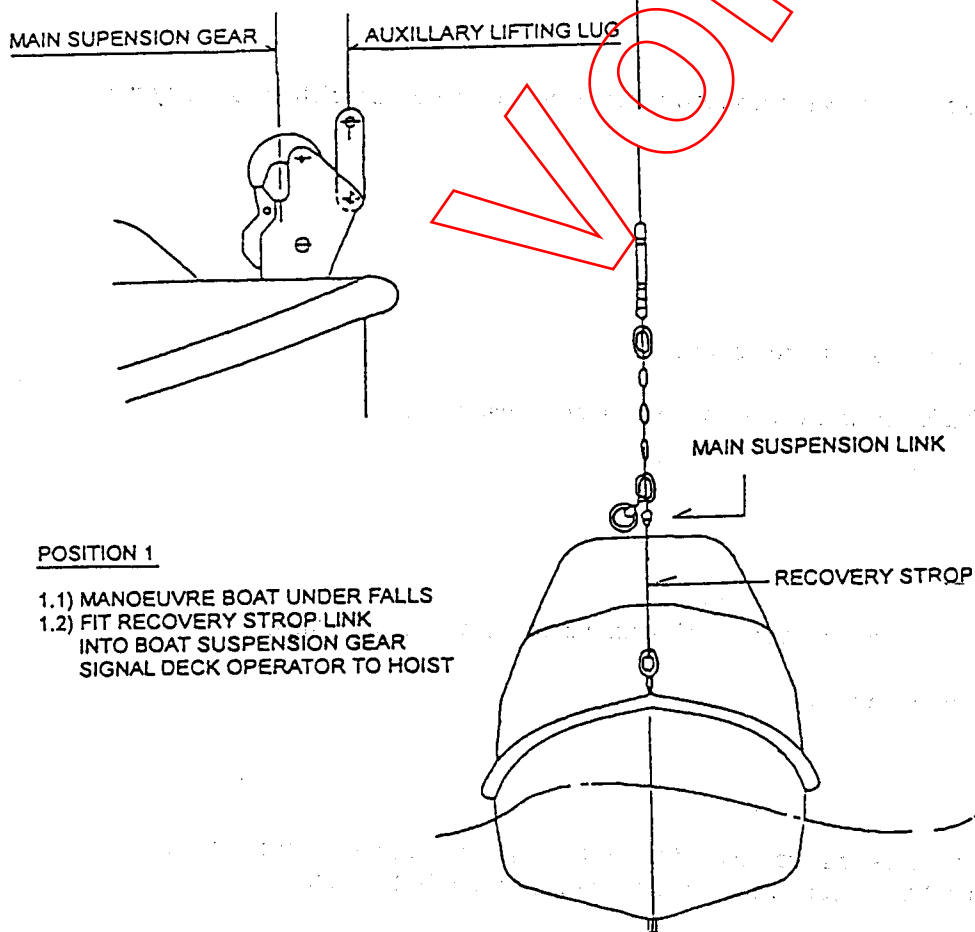
- 5.1) Hoist boat until it is possible to remove hanging off pendants from auxiliary lifting lugs.
- 5.2) Continue to hoist boat normally and stow.

N.B Ensure that hanging off pendant is secured to davit arm and the recovery stropps are stowed on the boat so as not to impede release of the boat during the next launch.

ENSURE BLOCK DOES NOT COME INTO CONTACT WITH STOP WHILST HOISTING ON RECOVERY STROPS

POSITION 2

- 2.1) DECK OPERATORS TO RELEASE HANGING OFF PENDANTS SO THEY HANG FREE
- 2.2) HOIST BOAT TO A POSITION WHERE HANGING OFF PENDANTS CAN BE ATTACHED TO AUXILLARY LIFTING LUG ON BOAT SUSPENSION GEAR.

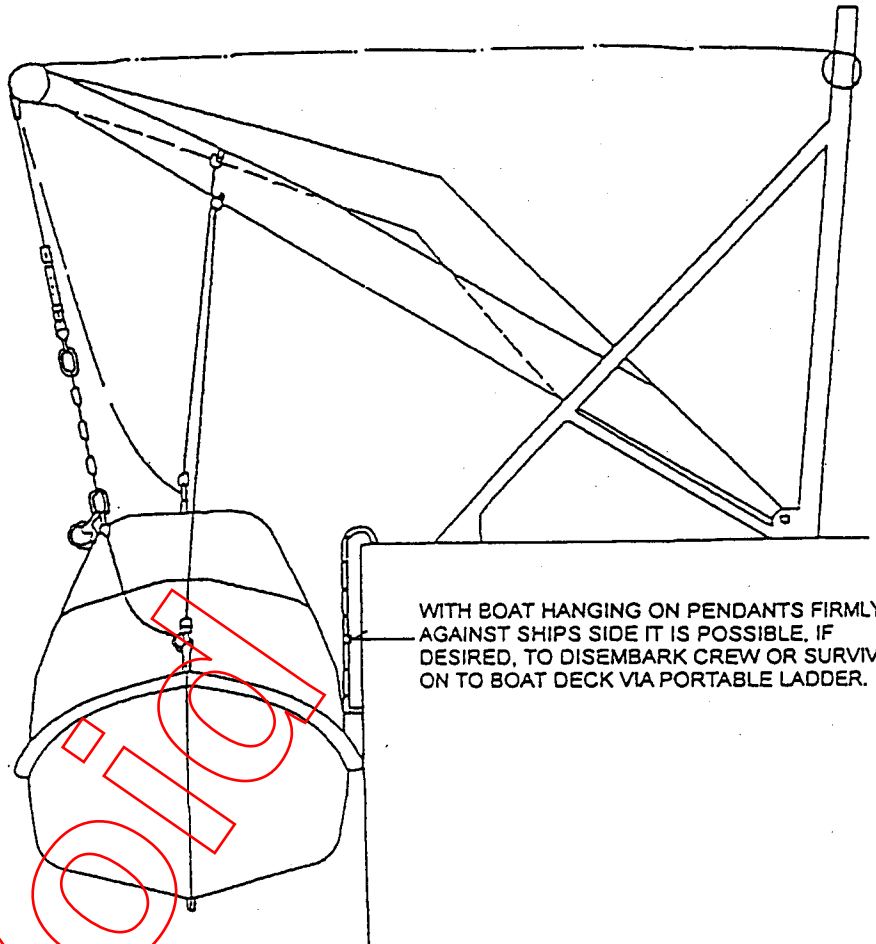


POSITION 1

- 1.1) MANOEUVRE BOAT UNDER FALLS
- 1.2) FIT RECOVERY STROP LINK INTO BOAT SUSPENSION GEAR
SIGNAL DECK OPERATOR TO HOIST

POSITION 3

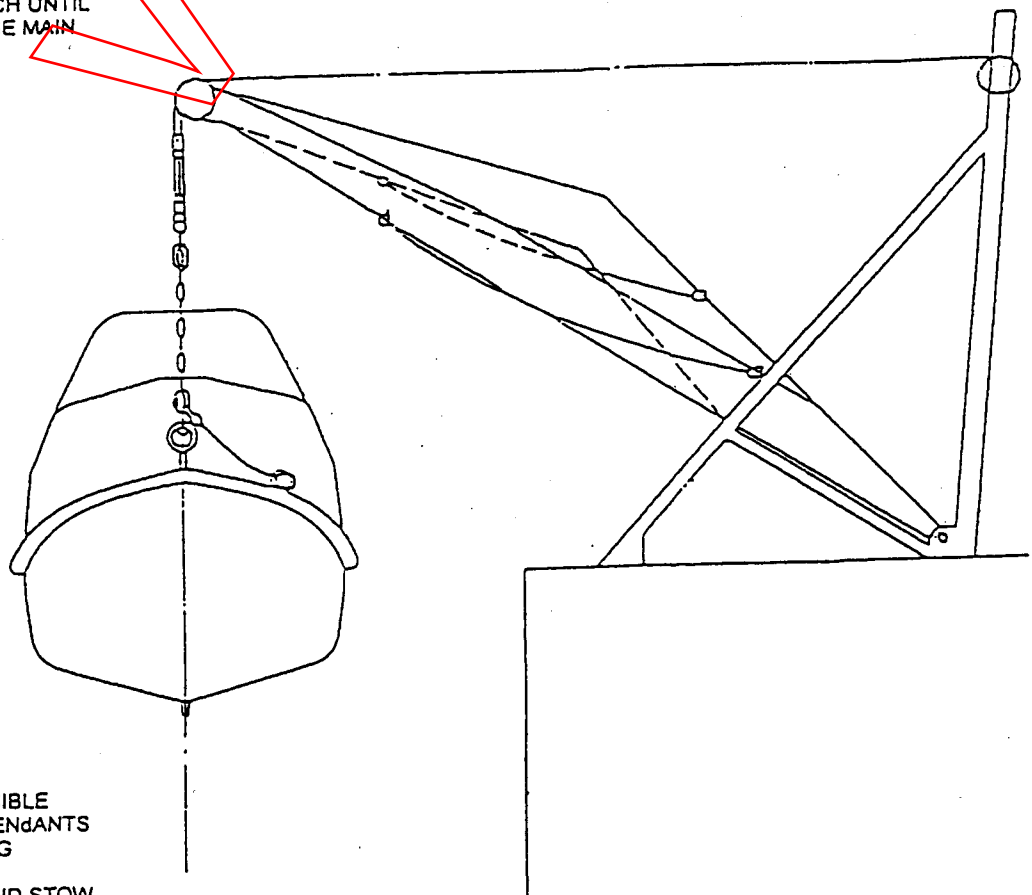
- 3.1) DECK OPERATOR TO LOWER BOAT UNTIL IT HANGS FULLY ON HANGING OFF PENDANTS.



WITH BOAT HANGING ON PENDANTS FIRMLY AGAINST SHIPS SIDE IT IS POSSIBLE, IF DESIRED, TO DISEMBARK CREW OR SURVIVORS ON TO BOAT DECK VIA PORTABLE LADDER.

POSITION 4

- 4.1) DISENGAGE RECOVERY STROPS FROM BOAT LIFTING HOOKS
4.2) PAY OUT MAIN FALLS AT WINCH UNTIL IT IS POSSIBLE TO RE-ENGAGE MAIN SUSPENSION LINK



POSITION 5

- 5.1) HOIST BOAT UNTIL IT IS POSSIBLE TO REMOVE HANGING OFF PENDANTS FROM AUXILIARY LIFTING LUG
5.2) CONTINUE TO HOIST BOAT AND STOW NORMALLY